

ゲンゴロウ

Cybister japonicus

コウチュウ目 ゲンゴロウ科

カテゴリー

大分県 IB

環境庁 準



昆
虫
類

体長35～40mm，日本では最大のゲンゴロウ。成虫は夏の終わりから出現し，成虫のまま土中で越冬する。ヒルムシロ・オモダカなどの水生植物の生えた池沼や放棄水田，湿地に生息し，魚類や昆虫などを捕食する。県内では，1960年代以降，ほとんど生息が確認できなかったが，1990年代後半からわずかながら生息が確認されている。食物連鎖^{れんさ}の上位であることから，農薬汚染による影響を強く受け，絶滅の危険性が高くなっている。

(写真：三宅 武 文：堤内雄二)

県内分布 九重町，玖珠町

分布域 北海道，本州，四国，九州，屋久島，壱岐
シベリア，朝鮮半島，中国，台湾